



低固有振動数スプリングショウマウント® 「SKT-2.3」

Low Natural Frequency Springshowmount® “SKT-2.3”

1. 概要

近年、ビルの高層化に伴い、電気設備を中間階に設置する事例が多くなってきている。中間階へのトランス設置によって、上下階への振動・騒音が問題になることがあり、トランスメーカーや電気設備施工事業者では、より高い防振性能を有したトランス用防振装置を必要としている。

また、トランス用防振装置には、耐震性能についても要求されることが多くなっている。

低固有振動数スプリングショウマウント「SKT-2.3」は、従来のスプリングショウマウント「SKT-S」に対し、固有振動数を4.0 Hz → 2.3 Hzに下げ、防振性能を向上させている。また、耐震性能向上のために、水平方向2G、垂直方向1Gの加速度に対応する耐震ストッパーを備えている。

2. 用途

中間階に設置されるトランスの防振装置として使用。

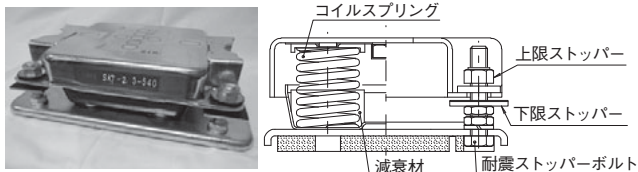


図1 製品概略図

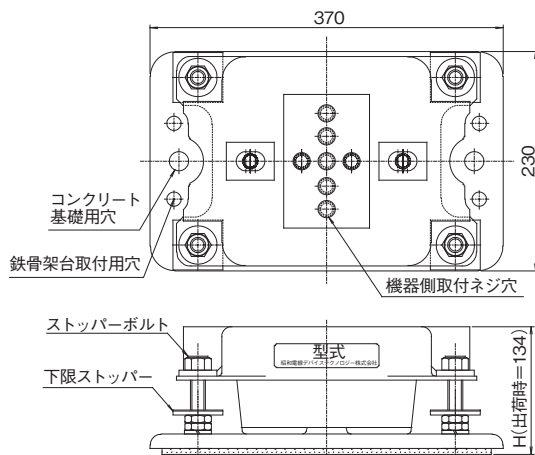


図2 製品寸法

表1 製品仕様

型式	ばね定数 N/mm	使用荷重範囲 N
SKT-2.3- 180	29	1336 ~ 1764
SKT-2.3- 220	36	1657 ~ 2156
SKT-2.3- 280	45	2080 ~ 2744
SKT-2.3- 350	56	2622 ~ 3430
SKT-2.3- 430	70	3285 ~ 4214
SKT-2.3- 540	87	4075 ~ 5292
SKT-2.3- 680	110	5137 ~ 6664
SKT-2.3- 840	137	6408 ~ 8232
SKT-2.3-1050	171	8010 ~ 10290
SKT-2.3-1260	218	10163 ~ 12348
SKT-2.3-1500	261	12173 ~ 14700
SKT-2.3-1800	310	14495 ~ 17640

3. 特長

- 固有振動数を2.3 Hz以下に設定しており、SKTシリーズ最高の防振性能を有している。
- 全使用荷重範囲で固有振動数が2.3 Hz以下となる選定を可能にするために、製品のラインアップを増やして対応している(図3)。
- ストッパーボルト構造により水平2G・鉛直1Gの耐震強度を有し、下限ストッパーを設けることで地震時の沈み込みを防止している。
- コイルスプリングの周囲に減衰材を付加しサージングを抑える構造としている。
- 各型式とも外形寸法が同一で、設置寸法を共通化できる。

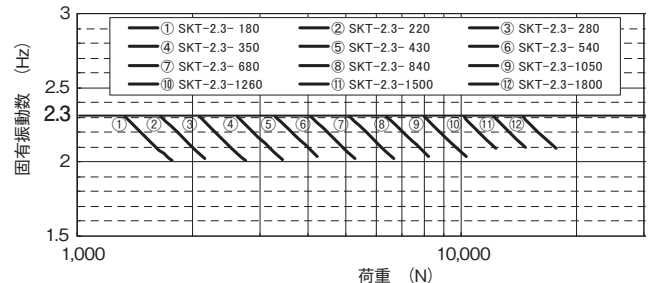


図3 SKT-2.3 搭載荷重と固有振動数

スプリングショウマウントは昭和電線デバイステクノロジー株式会社の登録商標です。

問合せ先: 〒105-6012 東京都港区虎ノ門4-3-1(城山トラストタワー)

昭和電線デバイステクノロジー(株)

営業統括部 制振制音営業課

電話(03)5404-6983 FAX(03)3436-2587